

5号機 原子炉冷却材再循環ポンプ用電源装置の油ポンプの不調について

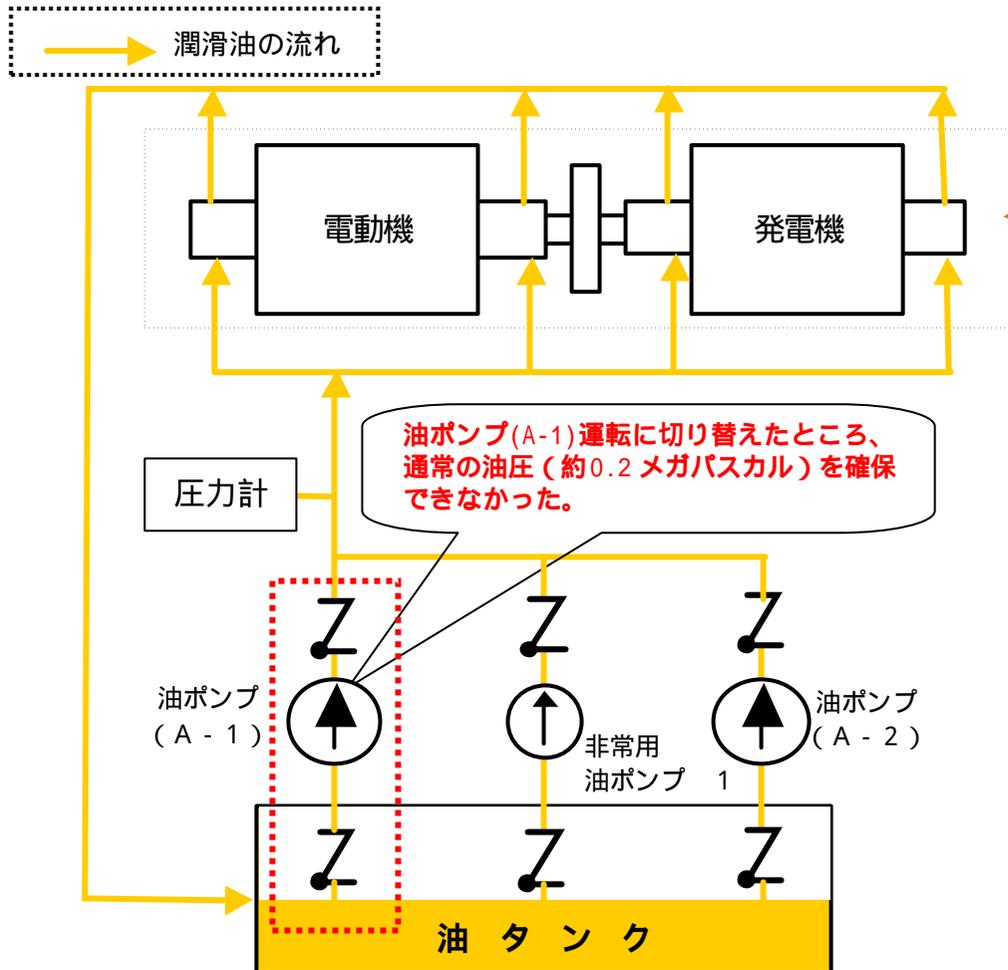
平成18年4月28日

発生号機	5号機（定格熱出力一定運転中） :改良型沸騰水型、定格電気出力138万キロワット
発生年月日	平成18年4月27日
発生時の状況	<p>定格熱出力一定運転中の5号機において、原子炉冷却材再循環ポンプの電源装置(A)(1)の軸受け部に潤滑油を供給する油ポンプ(2台のうち通常は1台運転)について、4月27日午後10時50分頃、運転中のA-2ポンプからA-1ポンプへの定期的な運転切り替え操作を実施したところ、A-1ポンプでは必要な油圧を確保できないことがわかりました。</p> <p>なお、現在A-2ポンプが運転していることから、原子炉冷却材再循環ポンプ用電源装置(A)の健全性に問題はありません。</p> <p>本事象による5号機の運転への影響はなく、安定に運転を継続しています。</p> <p>また、外部への放射能の影響もありません。</p>
原因及び対策	原因調査を実施し、必要な補修を実施します。
お知らせ基準	表2-1に該当します。

- 1 原子炉冷却材再循環ポンプ用電源装置は、原子炉内の冷却水を循環させるポンプ(原子炉冷却材再循環ポンプ)に電源を供給する装置です。交流電源喪失の際、同電源装置の回転の慣性力によって、原子炉冷却材再循環ポンプへの電源の供給を数秒間持続させるために設置しています。これにより、原子炉内の冷却水の循環量の急激な変化が緩和され、燃料の冷却性能が向上します。5号機には同電源装置が原子炉建屋1階(放射線管理区域外)に(A)と(B)の2台設置されており、それぞれ原子炉冷却材再循環ポンプ3台(合計6台)に電源を供給しています。

以上

5号機 原子炉冷却材再循環ポンプ用電源装置 (A) 油系統 概略図



1 : 非常用油ポンプは、交流電源喪失時等の油ポンプ2台停止時に直流電源により起動し、軸受を保護する。

【状況】

- 油ポンプを (A - 2) から (A - 1) に切り替えるため、(A - 1) を運転したが油圧が確保できなかった。
(油ポンプ (A - 1) を単独にしたところ、圧力が低下し、油ポンプ (A - 2) が自動起動した。)

【原因】

- 原因調査を実施し、必要な補修を実施します。

電源構成

